

(様式3)

目標達成計画

事業所名 ほっとしばたケアセンター

作成日: 平成 23年 8月 8日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19 (7-2)	○本人を共に支えあう家族との関係以前に行っていた、ご家族に向けてのお手紙の送付及びグループホーム独自の広報の作成を今後検討し、行われることを期待する。	ご利用者の詳細が伝わり、ご家族からも要望等が挙がる体制をつくる。	①毎月の個別便りにてご家族と情報共有を図る ②定期的な広報でホーム全体の情報を開示 ③テーマを作り適宜アンケートを実施して意向を把握	1～6ヶ月
2	35 (13)	○災害対策 前回課題となっていた地域との協力体制の構築及び必要な非常用食品の補充を早期に行われるよう期待する。	地域の方との災害訓練が実現する。	①町内自治防災の訓練に参加 ②近隣企業における防災の情報収集と連携の呼びかけ ③非常用品の点検と交換・補充(実施)	6ヶ月
3	24 (9-2)	○これまでの暮らしの把握 職員間で情報の聞き取りに差がある。今後も継続して、ご利用者・ご家族からの情報収集を行い、情報量を増やすことを期待する。	ご利用者について、暮らしの意向を検討できる情報量を、職員全員が持てるようになる。	①情報を得る対話の持ち方を現任で習得 ②アセスメントシートへ記載できるよう随時実習 ③情報の活かし方を身に着ける	6ヶ月
4	2 (2)	○事業所と地域とのつきあい 前回の評価同様、保育園児との交流が図れるように活動されることを期待する。	高齢者と園児が触れ合う交流を企画して実現する。	①保育機関等とその家庭への意義の理解を求め、協力体制に繋がる活動 ②園児が習得した演芸などを観覧できるような交流から始める	6ヶ月
5	33 (12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 看取り支援に対するホームの方針を検討し、ご家族にも方針を伝え、検討される場を設けることを期待する。	『家族会』を活かした形で、ご家族と職員がご利用者を第一に協議していける場をつくる。	①職員教育と技能の見極めをしっかりと行い支援可能な範囲を明確にする。 ②ご家族の意向や要望をしっかりと把握して、ホームの方針を共有して連携をとる。	6～12ヶ月